



黒塀の里山ニュース

令和6年6月21日 Vol 第8号

第5回通常総会開催

令和6年5月28日、中山町中央公民館において、NPO法人の第5回通常総会が総会員数のうち半数以上の会員（委任者含む）の出席により開かれた。総会には中山町長佐藤俊晴氏と中山町教育委員会教育長浦山健一氏のお二人が招かれた。総会は柏倉秀雄専務理事の進行により、柏倉和広理事長の挨拶に始まり、来賓者の佐藤俊晴町長より祝辞を賜りました。その後議長に佐東正人氏が選出され、事務局より各議案の説明後に審議の上承認された。



柏倉和広理事長のご挨拶

清右衛門家のひなまつり 開催

令和6年の柏倉九左衛門家ひなまつりに呼応し、当NPO法人は多彩な催し物を行った。お雛様は昨年に引き続き、清右衛門家の段飾りと九左衛門家の芥子雛を飾った。他、九左衛門家16代当主の桂子さんが伏籠（ふせご）に被せた着物に薫香をたきしめられた。又、日展会友青木邦明氏所有の土人形の展示もあり、昔日を偲ばせる趣を醸し出していた。

ワークショップでは、「抹茶を楽しむ」体験と「紅花染め」体験が行われ、多くの方が参加していた。

物品販売においても、紅花入り羊羹や蓮の実を利用して作られたブレスレットが好評でどちらもほぼ完売した。他に紅花染めのスカーフやハンカチも人気があり販売につながった。

春彼岸の時期はまだまだ寒い日が多い。去年は催事中にドカ雪が降ったが、今年は天気恵まれた。母屋勝手口の前では、温かいキノコ汁が用意され、来訪者に振舞われた。身体が温まると大変好評であった。

清右衛門家のひなまつりは3月16、17、20日の3日間行われ、延べ600人の来訪者があった。

清右衛門家での催事開催が定着してきた証であり、今後とも継続していきたい。



九左衛門家の芥子雛



伏籠





地域文化の調査・継承・発信に向けたクラウドファンディングプロジェクト

実施 令和6年1月15日(月)～
期間 令和7年1月14日(火)

【目標と御礼(リターン)について】

今回のプロジェクトは山形県中山町岡地区の残る地域文化の継承として、旧柏倉清右衛門家など旧家や地域に残された品々について、次の目標を目指します。

目標 ①旧家に残る歴史・民俗資料の資料整理調査等
目標 ②調査成果の記録化・発信、文化的景観の維持管理等

返礼 ①整理作業やイベントの様子等活動の定期報告

返礼 ②柏倉一族や岡地区の文化的景観等についての解説動画の提供

この他、季節ごとのお知らせやイベントのご案内等、様々の企画を通した情報発信にも取り組みます。

【ご支援いただく上でのご注意】

- ・今回のクラウドファンディングは月額支援型です。お申込み時にご登録いただく口座から、毎月一定の金額を引落しさせていただきます。
- ・皆様からのご支援は、調査に係る備品の購入、景観維持に係る費用、成果物の制作に活用させていただきます。

【お問い合わせ】

主催：NPO法人黒塀の里山保存会（担当：後藤）

メールアドレス：inaita3014@gmail.com

電話：023-663-2722

☆本企画のクラウドファンディングはアカデミスト株式会社により運営されています。

(<https://academist-cf.com>)

不動明王開眼式・催事開催

令和6年5月26日(日)午前9時から、岡山影地区において、新築した祠に安置されたお不動様の開眼式が、正法寺の村山英俊住職により執り行われた。当日は地域の方々や縁のある関係者が集まり、お不動様にお参りした。

安置された石造物として、不動明王立像(光背型塔)や文字塔、及び江戸時代中期の安永2年(西暦1773年)に、正法寺第23代の辯詮和尚が、不動沢の飲み水を称えた内容を刻したのものもあった。

開眼式・催事の締め括りに、大字岡自治会総代の井上俊美氏から御礼のご挨拶があった。



NPO法人黒塀の里山保存会事務所

〒990-0408

山形県東村山郡中山町大字岡 113 番地

TEL023-663-2722 FAX023-663-2723

ホームページ；<https://kurobei-satoyama.main.jp>